

自立活動だより



大阪府立羽曳野支援学校
大阪急性期・総合医療センター分教室

大阪急性期・総合医療センター分教室では、特設自立活動の時間を中心に、①コミュニケーション能力を養う。②ストレスの発散、心身の安定をはかる。③達成感や充実感を得る。を目標に、各活動に取り組んでいます。その様子を紹介します。

<読書活動（月曜日・隔週）>

読書活動推進委員会の教員と共同して「読書の木」を育てています。読んだ本の感想やおすすめポイントを書いた「読書の葉」で枝葉を広げていきます。

児童生徒の実態に応じて教員が紙芝居や絵本の読み聞かせをすることもあります。これらの活動を通して本に親しむきっかけづくりをしています。



人気の紙芝居

<創作的活動（水曜日）>

入院期間中に完成させられ、達成感が得られるようなもの作りを行っています。今年度は、児童生徒の実態に応じてアレンジできる「クラフトバンド」を使った小物作りを中心に取り組んでいます。

また、2学期は、児童生徒それぞれが季節の絵を描き、合作で来年のカレンダーを完成させました。教室に掲示する他、お世話になっている病棟などにプレゼントし、日頃の感謝の気持ちを伝えるよい機会にもなりました。



完成したカレンダー



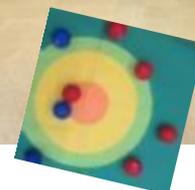
<集団的活動（金曜日）>

ゲーム大賞を受賞しているような海外のボードゲームなどに取り組んでいます。ほとんどの児童生徒は、このようなゲームをするのが初めてですが、人との関わりや、じっくり考える楽しさを味わうことができているようです。小学校低学年から取り組める「カルカソンヌ」や、高学年以上に人気の「ラミキューブ」がおすすめです。

児童生徒の実態や体調に応じて、「ポッチャ」にも取り組んでいます。児童生徒たちは、初めて取り組むスポーツにもかかわらず、その取り組みやすさや意外な展開にすぐに夢中になります。また、上級生が下級生にルールを説明したり、児童生徒が中心となってゲームを進めたりするなど、コミュニケーション能力や主体性を育てる取り組みを行っています。



審判をする生徒



ポッチャ